



9月号

編集・発行
熊日多良木販売センター
(代)小出堅太郎 小出忠紹
石田敏郎 尾前竜二 那須信一
球磨郡多良木町大字多良木 356-1
TEL 42-3355
FAX 49-1726
http://www.taragi.com/
当社のホームページ・ブログをご覧ください

祝金婚 寄り添い励まし半世紀 第55回熊日金婚夫婦表彰伝達式

9月12日に「熊日金婚夫婦表彰伝達式」が、多良木町は多目的研修センター、あさぎり町はポッポ館で開催されました。今年が多良木町で51組、あさぎり町岡原地区では16組のご夫婦が表彰されました。そこで、2組のご夫婦に50年を振り返ってお話を伺いました。



あさぎり町岡原南
福屋 賢二さん
京江さん
家業である農業を代々継がれてきた福屋さんご夫妻。主にタバコ・米・メロンを栽培されていますが「当時は体一つで何でも作業しなくてはいけなかった事が大変だったが、機械化が進んで便利になった反面、現在では設備投資が大変(笑)」と苦労話をして頂きました。現在は息子さん夫婦が引き継がれたので

安心しておられるそうです。
そんな福屋さんご夫婦の趣味は、農業の閑散期に行かれる旅行。「体が元気なうちに色んなところへ行ってみたい」と話されています。また、ご主人は45年間詩吟をされており、奥様も書道をされていることから、ご主人が歌った詩を、奥様が書にしたためて、知人にプレゼントされたりしています。今後の目標を伺うと「何事にも前向きに、楽しくやっていきたい。また(ユニセフなどの寄付を含めて)出来る限りの手助けもしていきたい」と話されていました。



多良木町多良木
溝辺 仁さん
マス子さん
営林署にお勤めになられたご主人の都合で「転勤が多く、知らないところに行くのが大変だった」と当時を振り返る溝辺さん夫婦。県内を始め、宮崎、鹿児島、佐賀県などを、約3年置きに転居されておりました。「子ども達には寂しい思いをさせてしまったが、おかげで友達も沢山できました」と話されるように、

現在も行き来をするご友人も多いそうです。
夫婦円満の秘訣をお尋ねすると「互いに我慢する時は我慢する。理解し合うことですね」と話されるほど、仲良しな溝辺さん夫婦。またご主人は海釣り(以前?)、奥様はビーチボールバレーを熱心にされているようですが、夫婦共通の趣味はグラウンドゴルフだそうです。健康のためにも、週に2~3日を10年以上続けておられるとか。「これからは体に気をつけて、長生きしないといですね」と、今後の目標を語って頂きました。これからはグラウンドゴルフや旅行を、楽しめることでしょう。



園児紹介

多良木町立
第一保育所
きく組(年長)
19名
担任
黒木 綾子 先生
吉鶴 緑 先生

散歩で木の実を拾ったりして秋を満喫しています!
社会見学を園児のみんなは楽しみにしています。

めぞせ、全国制覇!!



多良木町立多良木中学校2年生の竹下佳汰くんが、ジュニアオリンピック熊本県予選会に出場し、走り幅跳びで優勝、横浜市日産スタジアムで行われる「第44回全国ジュニアオリンピック陸上競技大会」への切符を手に入れました。県予選では、県内の強豪選手との大激戦を制し、また自己ベストの5m66cmの跳躍をみせて、学年別の部で見事県チャンピオンになりました。「基本動作を繰り返し練習してきた成果が出ました。ここまで来れたのも周りのみんなのおかげです」と竹下くん。多良木中陸上部顧問の日富先生は「彼にはいろんな方々のサポートがあり、競技に専念できている。全国では恩返しのつもりでベストを尽くして欲しい」と話されていました。全国大会の舞台でのさらなる飛躍を期待します。

木希記
◆16日の敬老の日
を中心が高齢者の
話題がよく取り上
げられます。年金
の話や介護のこ
となど暗い話題が多い時
代だけに、せめて気分ぐ
らいは明るく持ちたいも
の◆物事すべて完璧にや
らねば気のすまない人が
います。一方、100%を望
まず60か70%で満足しま
しょうと説くのは歌人斎
藤茂吉の長男で精神科医
の故斎藤茂太さん。人生、
苦労や失敗は当たり前前と
割り切るのが大切とのこ
と◆確かにそう考えると
肩の力がすっと抜けるよ
うな感じになります。そ
の上で「欲張らずによく
笑う」「好きなことに打
ち込むのが生きがい」「失
敗こそプラスに転換を
など日ごろ示唆に富む話
をしておられました◆そ
んな幸せづくりのヒント
の一つが「自然を友とす
る人は孤独を知らない」。
人付き合いが得手でなく
友人も少ないという人で
も豊かな多良木の自然に
親しむことで人生を楽し
み充実させてくれるとい
うわけでしょう◆危険に
は十分注意しながら、家
庭菜園や釣り、スポーツ、
散歩などで季節の変化を
感じてみませんか。きつ
と幸せな気分になれま
す。(X)

たらぎ文化財カルタ vol.6



「上相良氏の残した文化財」(国・県・町指定など) 多良木町
 相良氏は上相良と下相良に分かれ、人吉球磨の地域を二分して領有していました。上相良氏は初代の頼景から頼氏、頼宗、経頼、頼仲、頼忠、頼久を経て8代頼親に至りましたが、下相良氏と不仲になり覇権を争い敗れてしまいます。頼景下向から255年を経ています。この間この地にあった東光寺八幡社や長運寺、西光寺などを再興したり、青蓮寺の造営や王宮神社の建立、町内各地に残る薬師堂、槻木の御大師さんや四所神社神面なども上相良氏時代のものです。これらに加えて、15世紀以降に造られた文化財も、町内それぞれの所でよく守られてきており、庚申塔や卒塔婆などの石碑もよく残されています。

高等部2・3年生修学旅行 ～東京に行ってきました～

9月11日(水)から13日(金)まで、東京方面に修学旅行に行ってきました。11日(水)は、鹿児島空港から羽田空港まで航空機で移動した後、浅草寺・仲見世通りを見学しました。初めて航空機に搭乗する生徒もいて、離陸する時に驚く様子も見られましたが、すぐに慣れ、その後はリラックスして空の旅を楽しんでいました。浅草寺・仲見世通りの見学では、大勢の人の中、出来たての人形焼きや揚げまんじゅうを買って食べたり、雷門の前で写真を撮ったりしました。12日(木)は、東京ディズニーランドに行きました。事前に立てた計画に沿って、グループ毎にいろいろなアトラクションに乗ったり、パレードを見たり、お土産を買ったりして、約6時間、東京ディズニーランドを満喫することができました。13日(金)のJAL機体整備工場見学では、航空機を間近で見たり、パイロットや客室乗務員の制服を試着したりしました。
 天候にも恵まれ、体調を崩したり怪我をしたりする生徒もなく、3日間楽しく過ごすことができました。学校に到着後、「東京ディズニーランドで〇〇に乗って楽しかった!」「〇〇や〇〇を買った。」等々、たくさんの楽しかった思い出を家族の方や出迎えた職員に嬉しそうに話していました。生徒にとって、楽しい修学旅行になりました。

(原稿・写真提供：球磨支援学校)



鐘の織り祭りは女性の祭り



多良木町の鶴羽・植木地区(西 武次郎区長)で、9月8日に「鐘の織り祭り」があり、地区の女性が集まり祭りを盛り上げました。始めにNPO法人お達者くらぶ理事長の前田さんより、恩送り、若返り、笑いについて公演がありました。同地区の恒松ヤエ子さんに、祭りの由来について聞いてみました。江戸時代の頃から球磨地方は麻を栽培しており、経済の中心でした(その後養蚕へ)。毎年その年にできた麻を紡いで「鐘の緒」(緒は鐘に下がっている紐)を作って、神社に奉納していました。女性は結婚して子供を産むと、へその緒を麻のひもで縛り、産着には麻の葉模様が入っていた。また、33才の厄年には母親から、これから家庭をきちんと締めていくようにと、帯締めか、帯留めが送られていたそうです。とにかく麻は、女性には一生なくてはならない物だったそうです。最後に「女性は、麻(朝)早く起きること」と言われていたそうです。



着物は、恒松さんが明治2年生まれの祖母さんに、昭和31年に生き形見として送られたもの。麻の栽培から全てが手作り。

多良木警察署だより

秋の全国交通安全運動

期間：9月21日(土)～9月30日(月)

※ 運動の基本 ※

子どもと高齢者の 交通事故防止

※ 運動の重点 ※

- ① 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故防止
- ② 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ③ 飲酒運転の根絶

(原稿提供：多良木警察署)